



横浜市避難ナビ

「いま」から「いざ」に備えましょう!

横浜市避難ナビの使い方 ～マイ・タイムラインの作成方法～



手順 1

横浜市避難ナビのホーム画面

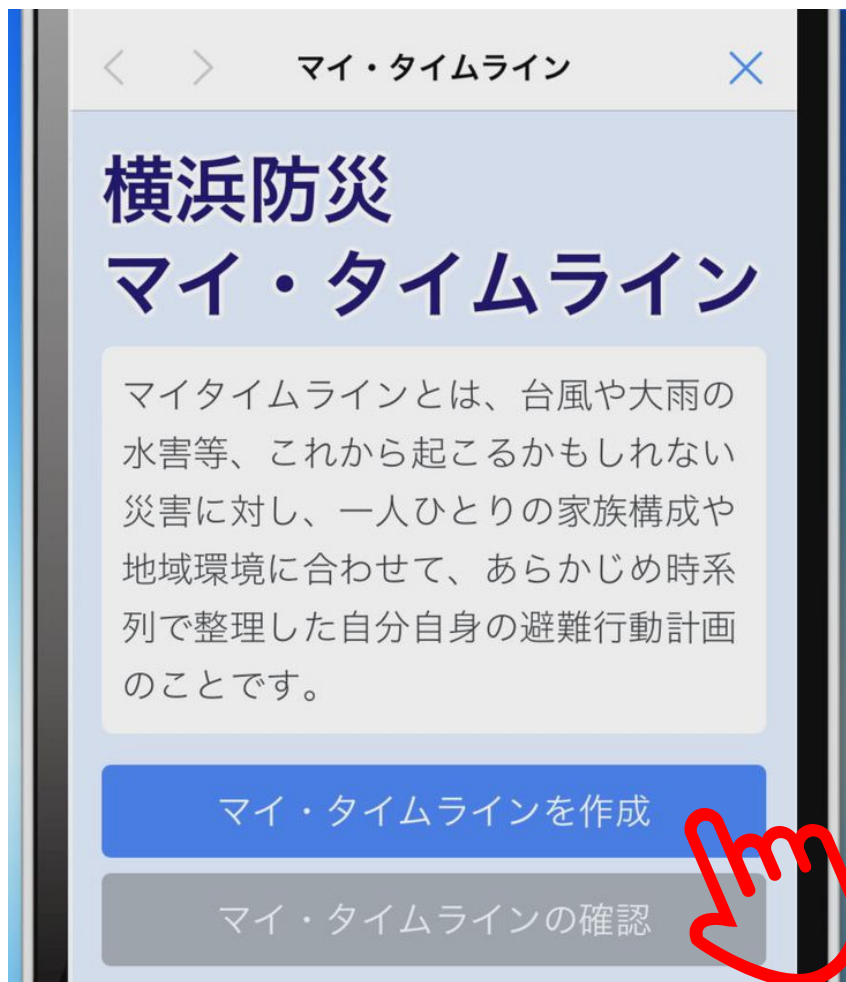
→項目「マイ・タイムライン」をタップ
します。

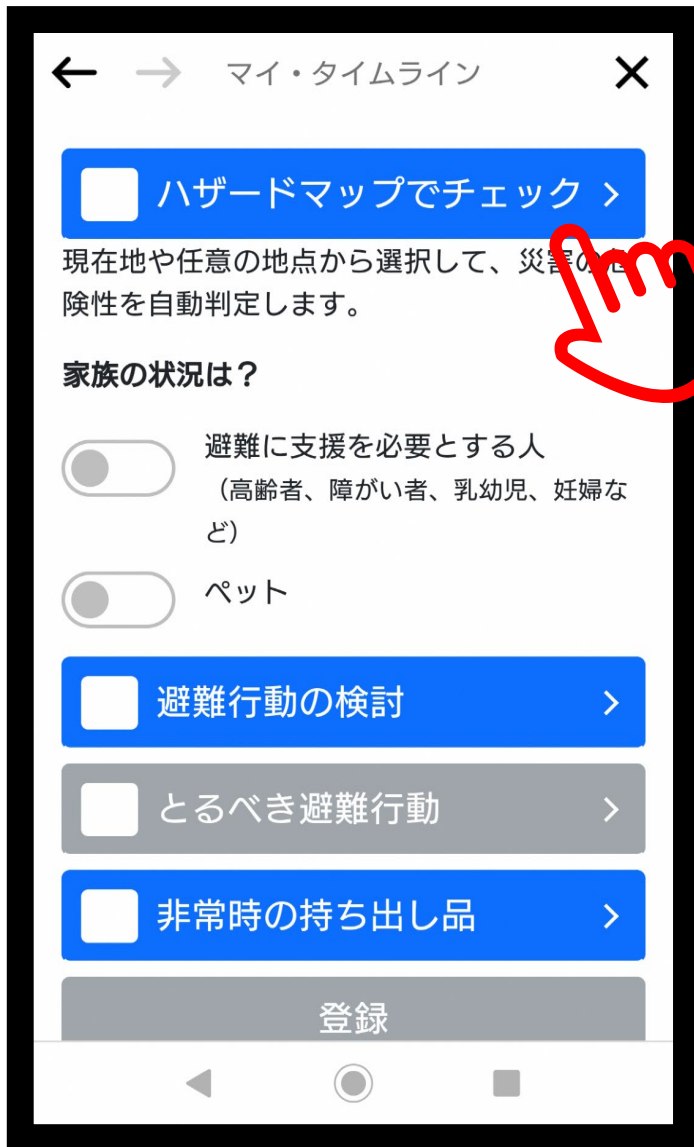
手順 2

マイ・タイムラインのホーム画面

→マイ・タイムラインの説明が書いてあります。

→下段の「マイ・タイムラインを作成」ボタンをタップします。





手順 3

マイ・タイムラインを作成する前に、確認することが3つあります。

まずは、ハザードマップで住んでいる地域の危険性を確認しましょう。

→ 「ハザードマップでチェック」をタップしましょう。



手順 4

地図が出てきます。

ご自宅や会社等、マイ・タイムラインを作成したい場所を決めます。

※位置情報をONにしている場合は、現在地に+マークが自動表示されます。

→「+マーク」を作成したい場所に合わせます。

→場所を決めたら「この位置に決定」をタップしましょう。

手順 5

選んだ場所が浸水想定区域等に該当しているか、自動で判定されます。

The screenshot shows a mobile application interface for flood risk assessment. At the top, there is a blue header with a checkmark icon and the text "ハザードマップでチェック" (Check with Hazard Map), followed by a right-pointing arrow. Below this, a paragraph explains that the current location or any point is selected to automatically judge the danger of disaster. The section "あなたの住んでいる地域は？" (Which area do you live in?) contains three orange boxes, each with a warning icon and a title: "洪水浸水想定区域" (Flood inundation estimated area) with a scale of 0.5m~3.0m, "高潮浸水想定区域" (Storm surge inundation estimated area) with a scale of 0.5m~1.0m, and "内水浸水想定区域" (Urban water inundation estimated area) with a scale of 0.2 ≤ water depth (m) < 0.5m. The section "家族の状況は？" (What is the family's situation?) has two toggle switches: "避難に支援を必要とする人 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)" (People who need assistance for evacuation (elderly, disabled, infants, pregnant women, etc.)) and "ペット" (Pet).

< > ×

ハザードマップでチェック >

現在地や任意の地点から選択して、災害の危険性を自動判定します。

あなたの住んでいる地域は？

洪水浸水想定区域
想定最大規模：0.5m~3.0m

高潮浸水想定区域
想定最大規模：0.5m~1.0m

内水浸水想定区域
想定最大規模：0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m

家族の状況は？

避難に支援を必要とする人
(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)

ペット

手順 6

次に、家族の状況を確認します。

確認する項目は2つです。

- ・避難に支援を必要とする人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等）がいるかどうか。
- ・ペットを飼っているかどうか

→該当する項目の左側をタップしましょう（タップすると青色に変わります）



手順 7

最後に、避難行動を検討します。

→ 「避難行動を検討」をタップしましょう。

< > マイ・タイムライン ×

高潮浸水想定区域
想定最大規模：0.5m~1.0m

内水浸水想定区域
想定最大規模：0.2≦浸水深 (m) <0.5m

家族の状況は？

避難に支援を必要とする人
(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)

ペット

避難行動の検討 >

避難行動 >

非常時の持ち出し品 >

登録

手順 7 - 1

先ほど自動判定した地域の危険性

(指定した場所が浸水想定区域等に該当しているかどうか) が再び表示されます。

→住まいの状況について「はい・いいえ」のどちらかを選択しタップします。

The screenshot shows a mobile application interface with a white background and a black border. At the top, there is a navigation bar with a back arrow, a forward arrow, the text 'マイ・タイムライン', and a close 'X' icon. Below this, the question 'あなたの住んでいる地域は?' is displayed. A light gray box contains the text '洪水浸水想定区域・高潮浸水想定区域・内水浸水想定区域 区域内です'. A downward arrow follows. The next question is 'あなたの住まいの状況は?'. Below it, a light gray box lists two bullet points: '建物丈夫' and 'マンション居住'. At the bottom of this section are two buttons: 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). Below the buttons is a '注意事項' (Important Notice) section with three lines of text. A red hand icon with a pointing finger is overlaid on the 'はい' button.

< > マイ・タイムライン X

あなたの住んでいる地域は？

洪水浸水想定区域・高潮浸水想定区域・内水浸水想定区域
区域内です

↓

あなたの住まいの状況は？

- 建物丈夫
- マンション居住

はい いいえ

注意事項
避難方法検討の目安です。
浸水想定区域外でも浸水する場合、想定される浸水深を上回る場合もあります。
屋内待機や垂直避難と判断した場合でも、水平避難を想定した準備をしましょう。

手順 7 - 2

「はい」を選択した場合、
→さらに確認事項が出てきます。

→内容を確認し「はい・いいえ」のどちらかを選択しタップします。

→垂直避難または水平避難が出てきたら最後に「確認」をタップします。

マイ・タイムライン

↓

ハザードマップの最大浸水深や崖との距離などを考慮すると、垂直避難（崖地からはなれた居室も含む）で安全確保ができる。

補足

はい いいえ

垂直避難
(建物内の2階以上)

確認

注意事項
避難方法検討の目安です。

浸水想定区域外でも浸水する場合や、想定される浸水深を上回る場合もあります。

屋内待機や垂直避難と判断した場合でも、水平避難を想定した準備をしましょう。

手順 7 - 3

< > マイ・タイムライン ×

あなたの住んでいる地域は？

洪水浸水想定区域・高潮浸水
想定区域・内水浸水想定区域
区域内です

↓

あなたの住まいの状況は？

- 建物が丈夫
- マンション居住

はい いいえ

↓

水平避難
(立退き避難)

確認

「いいえ」を選択した場合、
→「水平避難（立退き避難）」が表示されます。

→最後に「確認」をタップします。

いまから いざに 備えましょう!



マイ・タイムラインを作成する前の3つの確認事項が入力できました。

次は、警戒レベルごとにマイ・タイムラインを作成していきます。



手順 8

警戒レベル毎の、とるべき避難行動を登録します。

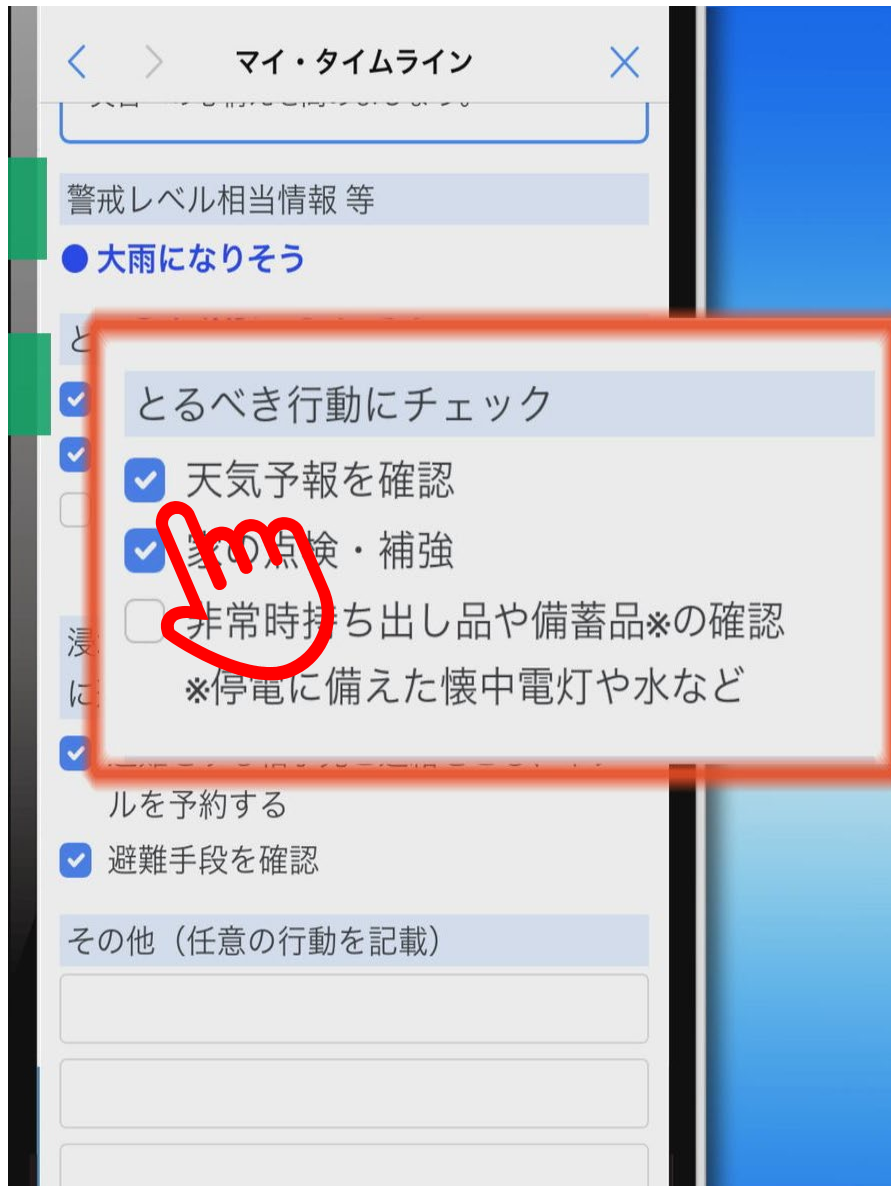
→警戒レベル1をタップします。



手順 8 - 1 警戒レベル 1

→ 「とるべき行動にチェック」の各項目で該当する内容をタップします。

選んだ項目は青色のレ点が入ります。



< > マイ・タイムライン ×

警戒レベル相当情報等

● 大雨になりそう

とるべき行動にチェック

天気予報を確認


家の点検・補強

非常時持ち出し品や備蓄品*の確認
*停電に備えた懐中電灯や水など

その他（任意の行動を記載）

次はレベル2を作成しましょう

登録



手順 8 - 1 警戒レベル 1

→レ点を入れ終わったら、画面下の「確認」をタップしましょう。

→警戒レベル1の入力を終わったら、警戒レベル2、3、4、5と順番に入力をしていきます。

※各レベルで入力ができたら画面下段の「確認」を必ずタップしてください。

< > マイ・タイムライン ×

警戒レベル2
大雨注意報・洪水注意報等
自らの避難行動を確認しましょう。

行政からの情報 等

● 自主避難など注意の呼びかけ

とるべき行動にチェック

備品等が水没しないように安全な場所
に置く

その他（任意の行動を記載）

手順 8 - 2 警戒レベル 2

→警戒レベル1と同様の手順です。

入力ができたら画面下段の「確認」を必ずタップしてください。

手順 8 - 3 警戒レベル 3

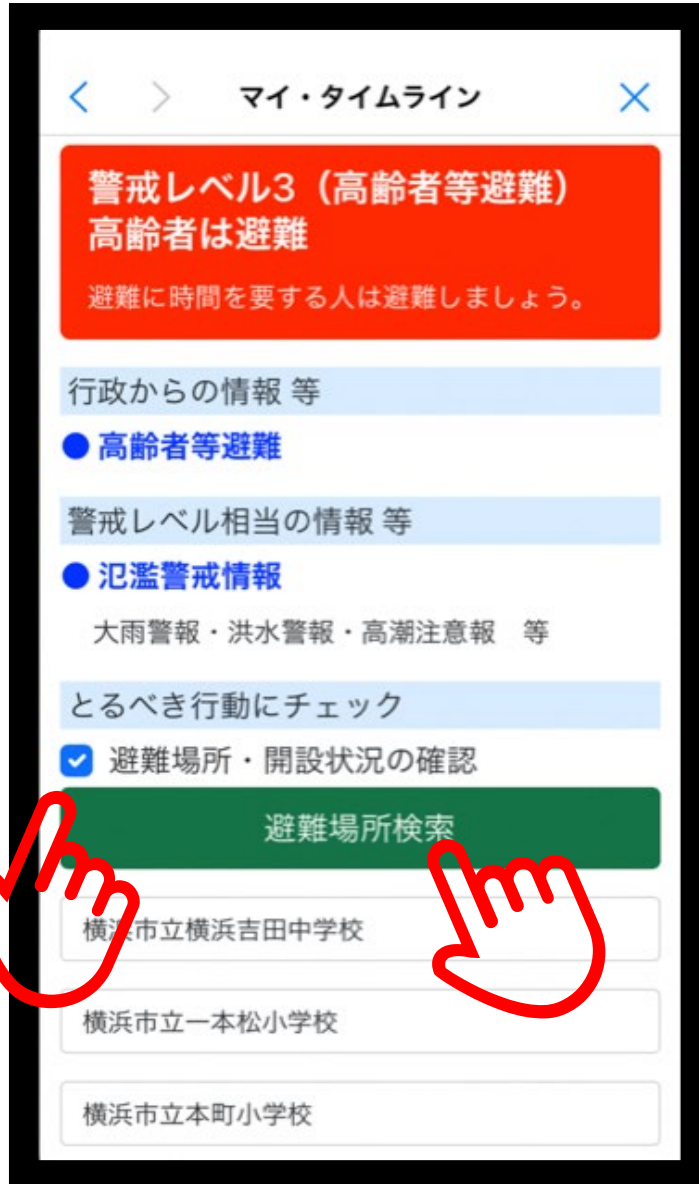
警戒レベル 3（高齢者等避難）では、避難場所の確認ができます。

→ 「とるべき行動にチェック」の「避難場所・開設状況の確認」にタップします。

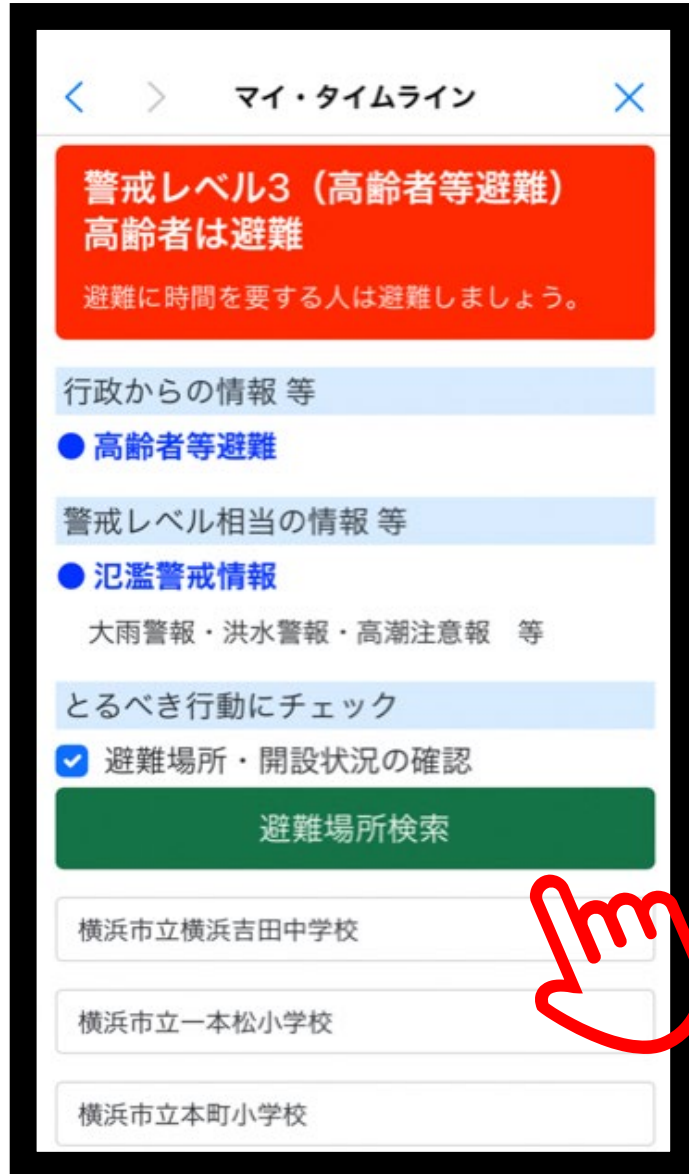
→ 「避難場所検索」をタップします。

すると、あらかじめ指定した場所から近い避難場所の候補が自動で入力されます。

青いレ点が入力できたら画面下段の「確認」をタップしてください。

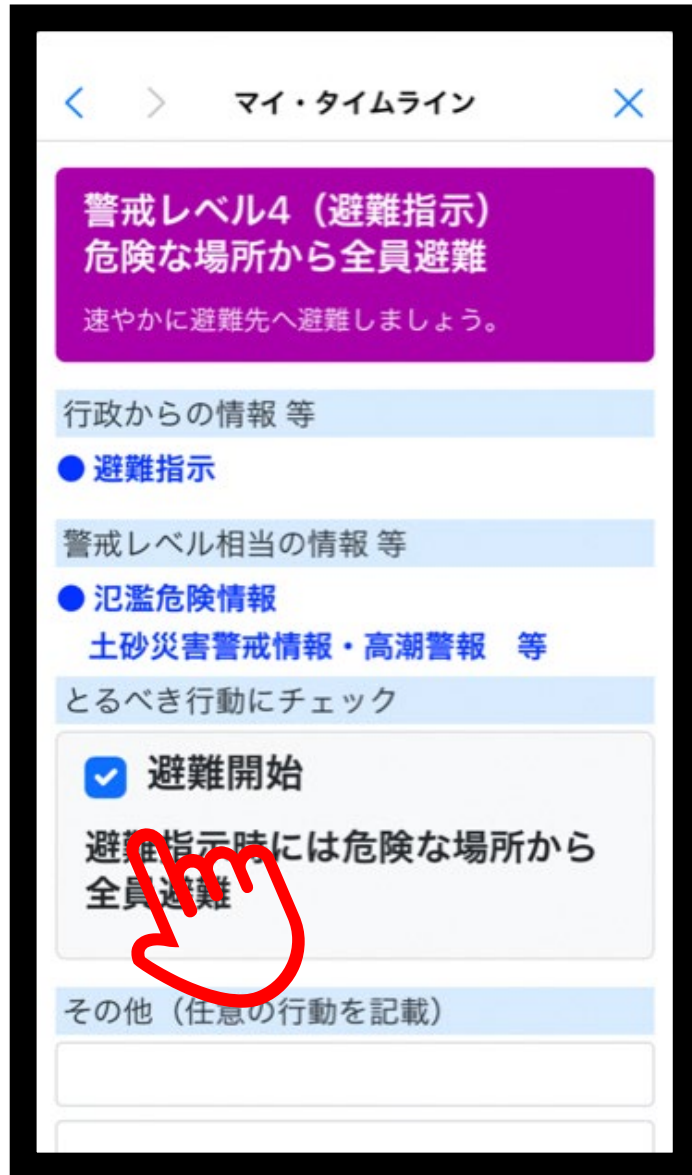


手順 8 - 3 警戒レベル 3



なお、災害時に表示された避難場所が必ず開設されているとは限りません。

避難するときには「避難場所検索」等を活用し、開設されている避難場所を確認しましょう。



手順 8 - 4 警戒レベル 4

警戒レベル 4（避難指示）では、危険な場所から全員避難をします。

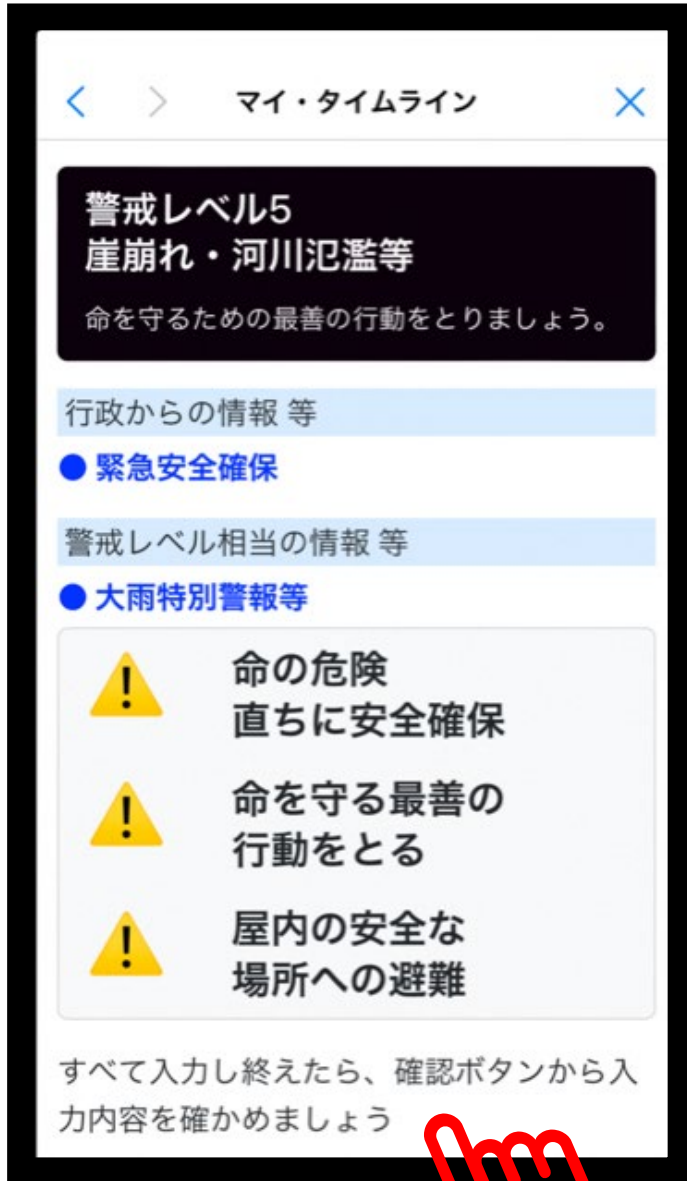
→ 「とるべき行動にチェック」の「避難開始」にタップします。

→ 青いレ点が入ったら画面下段の「確認」をタップします。

手順 8 - 5 警戒レベル 5

警戒レベル 5（緊急安全確保）では、命を守るための最善の行動をとりましょう。

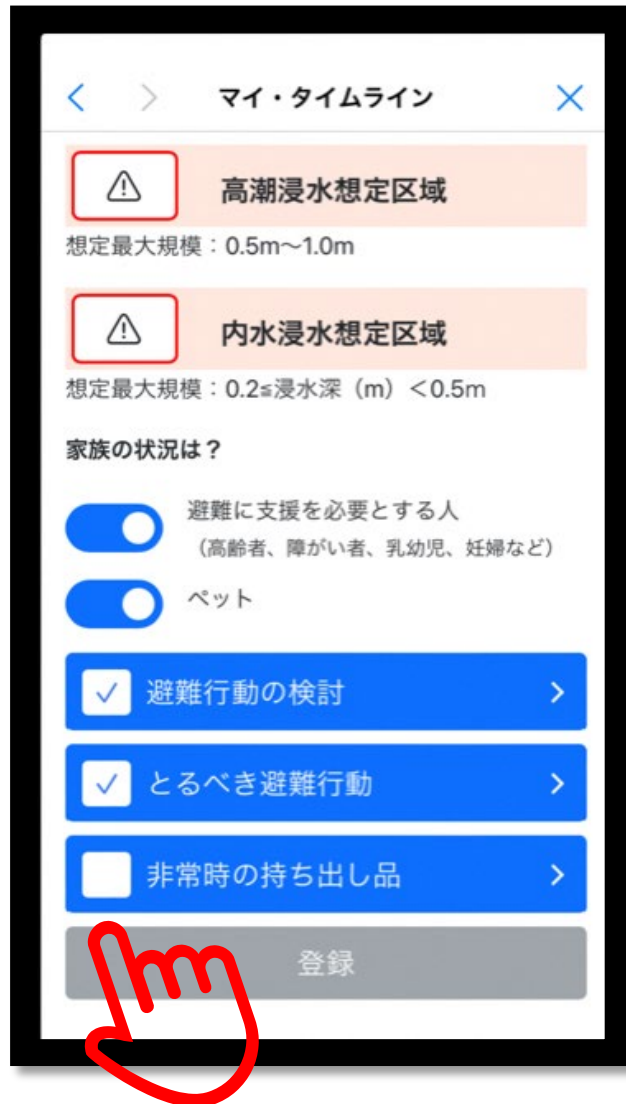
→ 内容を確認し、画面下段の「確認」をタップします。



手順 9

とるべき避難行動に青いレ点が入りました。

→最後に「非常時の持ち出し品」をタップします。



手順 9 - 1

家族構成をふまえて必要な持ち出し品を確認しましょう。

→ 「とるべき行動にチェック」の各項目で該当する内容をタップします。

選んだ項目は青色のレ点が入ります。

< > マイ・タイムライン ×

避難場所における物資・食料は、避難者の方々に持参していただくことを原則とします。
(避難することを最優先に、可能な限り持参しましょう)

非常時の持ち出し品リスト

●家族構成を踏まえて、必要なものを選びましょう。

救急・安全

- 救急セット
- メガネ・コンタクトレンズ

貴重品

- 預金通帳、現金、カード
- 免許証、保険証、印鑑など

水・食料

- 飲料水
- 非常食

手順 9 - 2

マイ・タイムライン

レイアウト

その他

登録

その他に必要な持ち出し品があれば、「その他」の空白欄に記入しましょう。

→入力が終わったら、画面下段の「確認」をタップします。



手順10

全ての項目が入力できているか確認します。

→画面下の「登録」をタップします。

※「登録」が出てこない場合は、未入力の項目があります。

入力完了

→画面下の「マイ・タイムラインを確認」をタップします。

→自分自身が登録した内容が出てきます。





マイ・タイムラインの確認

→画面下の「マイ・タイムラインを確認」をタップします。

→自分自身が登録した内容が出てきます。

横浜市避難ナビ

いま
から



いざ
に

備えましょう!